

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成23年5月

和歌山県立和歌山西高等学校

☆一人でも多くの人達へ……

5月7日（土）、オークワパーマシティトイザラス側玄関前にて、東日本大震災被害にたいする義援活動を実施しました（参加生徒15名、教職員4名）。前回（3月19日）に経験していたこともあって、参加した生徒達は元気よく募



金を訴えました。しかしながら、発生からおよそ2カ月が経ち、私達の意識の中に震災が薄れてきているのではないかという面が見られます。これからも風化させることなく、私達に何ができるのかを考えていきたいと思います。この日は、生徒達からの申し出により、予定より30分延長したこともあって、50,382円集まりました。



☆テストが終わって、さあエンジョイ！



前期中間考査Ⅰが終了した翌日の5月20日（金）に遠足を実施しました。1年次生はマリナーシティ、2年次生は難波、3年次生はUSJにて、クラスや学年の仲間達と楽しいひとときを過ごしました。天候にも恵まれ、日頃とはまた違った生徒達の表情が見られました。これを機に、クラスや学年の和が深まり、今後の学習や特別活動が活発となることを期待します。

☆さあ、全力でがんばるぞ！！

5月24日（火）、体育館にて県高校総体、県高校野球選手権大会、県高校ラグビー選手権大会壮行会を実施しました。生徒会書記の久保くん（2年生）が司会を務め、保健体育科の近藤先生より、今大会に関する説明、揚村教頭および生徒を代表して、生徒会副会長の惣木さん（3年生）より、「特に3年生は最後の大会と



なります。精一杯頑張ってください」との激励のことばがありました。最後に選手を代表して水泳部の下村くん（3年生）が、「日頃厳しい練習をしてきた成果を十分に発揮してきます」と力強く決意を表明しました。挨拶にもあったように、3年生は最後の大会です。選手達は高校生活の良き思い出となるよう、悔い無く奮闘してくれることでしょう。